SONY

4-653-567-**01**(1)

CD-R/RWドライブ

セットアップ説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機ご使用前に必ずお読みください。

CRX76A

はじめにお読みください

CRX76Aをパソコンに接続し、CD-R/RWドライブとして使用するためには、以下のような手順で準備を行う必要があります。

セットアップする

セットアップの手順は、パソコンやOS（オペレーティングシステム）によって異なります。

Windows 98またはWindows Meの場合

（Windows 98またはWindows MeプリインストールモデルのパソコンでWindows 98またはWindows Meを使用している場合）

→本書の5～11ページに従って準備を行ってください。

Windows 2000の場合

（Windows 98、Windows MeまたはWindows 2000プリインストールモデルのパソコンでWindows 2000を使用している場合）

→本書の12～19ページに従って準備を行ってください。

Windows 95の場合

（Windows 95プリインストールモデルのパソコンでWindows 95、Windows 98、Windows 2000、Windows Meを使用している場合）

→本書の20～25ページに従って準備を行ってください。

セットアップが終了すれば、CRX76AはCD-ROMドライブとして使用することができます。

↓

ライターソフトウェアをインストールする

→ライターソフトウェアに同梱されているマニュアルを参照してください。

- CRX76AをCD-R/RWドライブとして使用するためのライターソフトウェアをインストールする。
- インストール後、パソコンの再起動が必要です。

↓

CRX76Aドライブを使用する

これまでの手順が完了すれば、CRX76AをCD-R/RWドライブとして使用できます。

メモ

ライターソフトウェアの操作方法については、ライターソフトウェアに同梱されているマニュアルやヘルプを参照してください。

ファイルやフォルダの操作については、Windowsの説明書やヘルプを参照してください。

目次

本書について

本書は、CRX76Aをご使用になるために最初に行っていただきたいPCカードの設定とPCカードドライバーのインストールについて説明しています。ご使用の前に必ずお読みください。PCカードドライバーをインストールしたコンピューターにCRX76Aを接続すれば、いつでもCD-ROMドライブとして使用することができます。
CRX76AをCD-R/RWドライブとして使用するためには、ライターソフトウェアをインストールする必要があります。ライターソフトウェアのインストール方法については、付属のライターソフトウェアに同梱されているマニュアルを参照してください。

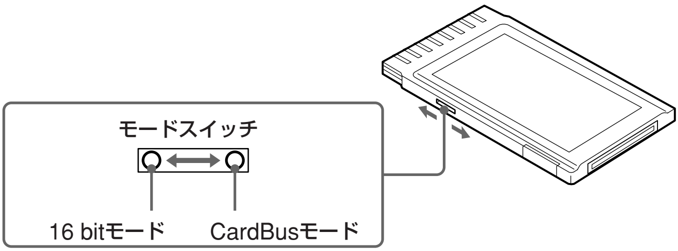
セットアップする（Windows 98、Windows Meの場合）

ご注意

Windows 95プリインストールモデルのパソコンでWindows 98、Windows Meを使用している場合は、「セットアップする（Windows 95の場合）」を参照してセットアップを行ってください。

PCカードのモードスイッチ設定の確認

PCカードのモードスイッチがCardBusモードに設定されていることを確認します。
モードスイッチは、先が細くて硬いピンなどを使って切り替えてください。



CardBusモード

32ビットデータバスにより、データを高速に転送することができます。Windows 98やWindows Meプリインストールモデルのパソコンは、ほとんどの場合CardBusモードに対応していますので、このモードで使用することをお勧めします。

16 bitモード

パソコンがCardBusモードに対応していない場合は、このモードで使用します。なお、CardBusモードに対応しているパソコンでも、16 bitモードで使用することができます。

次のページにつづく

PCカードドライバーのインストール

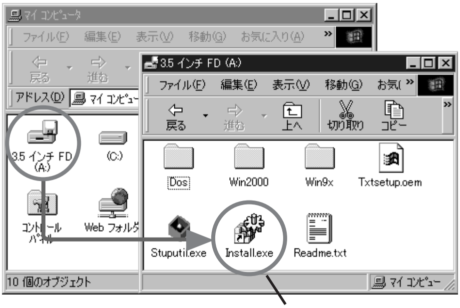
PCカードドライバーをインストールします。

重要

ここでは、まだPCカードをカードスロットに挿入しないでください。

1 **付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入する。**

2 **[マイコンピュータ] をダブルクリックし、[A:]（セットアップディスクを挿入したフロッピーディスクドライブがAドライブの場合）、[Install.exe] の順にダブルクリックする。**



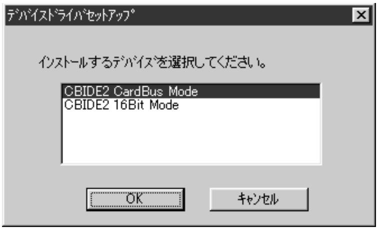
このアイコンをダブルクリックし、Install.exeを起動

「デバイスドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されます。



3 ［インストール］を選択し、［OK］をクリックする。

PCカードドライバーの一覧が表示されます。



4 PCカードのモードに合わせてPCカードドライバーを選択する。

- CardBusモードの場合は、［CBIDE2 CardBus Mode］を選択します。
- 16 bitモードの場合は、［CBIDE2 16Bit Mode］を選択します。

5 ［OK］をクリックする。

インストールが始まります。しばらくすると次のメッセージが表示されます。



6 ［OK］をクリックする。

これでインストールは終了です。「パソコンとの接続」に進んでください。

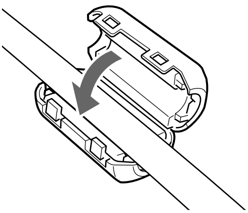
次のページにつづく

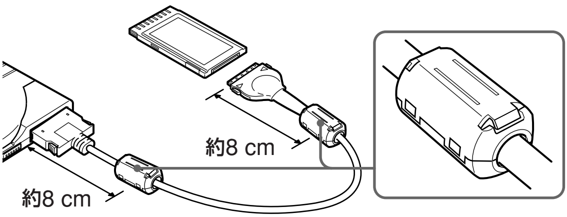
パソコンとの接続

ケーブルコア（フェライトコア）を取り付ける

1　インターフェースケーブルを挟むようにして、付属のケーブルコアをカチッと音がするまで閉じる。

ケーブルコアは、インターフェースケーブルのPCカード接続側およびドライブ接続側の根元付近（ケーブルコアの中央が、コネクタから約8 cmの位置）に取り付けてください。



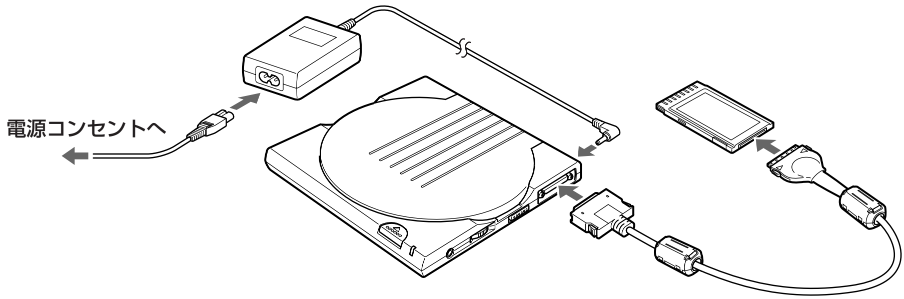


メモ

VCCI規格に適合させるために、ケーブルコアは正しく取り付けてください。ケーブルから外部に発生するノイズが低減します。

PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプター、電源コードを接続する

1 CRX76Aの電源スイッチがオフになっていることを確認して、PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプター、電源コードを接続する。

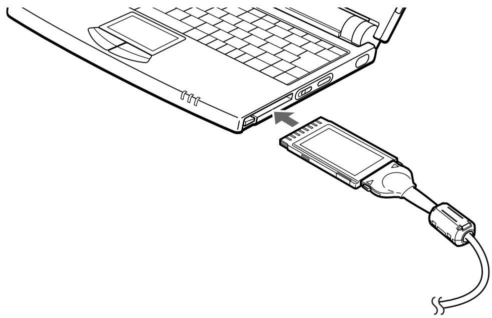


ご注意

PCカードは、まだパソコンに挿入しないでください。

2 CRX76Aの電源スイッチをON側にスライドする。

3 PCカードをパソコンに挿入する。



メモ

PCカードはパソコンの電源がオンでもオフでも挿入することができます。

次のページにつづく

4 **パソコンの電源がオフになっている場合は、電源を入れる。**

CRX76Aが接続されていることがパソコンに認識されます。このあと、「セットアップ終了後の確認」に進んでください。

セットアップ終了後の確認

ここでは、セットアップが正しく行われたことを確認する方法を説明します。

1 **［マイコンピュータ］をダブルクリックする。**

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 **「マイコンピュータ」ウィンドウにCD-ROMドライブのアイコンが追加されていることを確認する。**

CD-ROMドライブのアイコンが追加されていれば、セットアップは正しく行われています。



ご注意

CD-ROMドライブのアイコンが追加されない場合は、CRX76Aとパソコンが正しく接続されているかどうか、また、CRX76Aの電源が入っているかどうかを確認してください。電源が入っていない場合はPCカードをいったん抜き、「パソコンとの接続」の手順に従って接続し直してください。
それでもアイコンが追加されない場合は、「セットアップする（Windows 95の場合）」を参照してもう一度セットアップを行ってください。

メモ

- CRX76Aの接続状態をさらに詳しく確認するには、［デバイスマネージャ］を表示させます。［デバイスマネージャ］を表示させるには、［マイコンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックし、［システムのプロパティ］ダイアログボックスで［デバイスマネージャ］タブをクリックします。デバイスの一覧で「CardBus Controller」の下位にPCカードドライバー名（「CBIDE2 DuoATA Card」）が表示され、さらに下位にCD-R/CD-RWドライブ名（「SONY CD-RW CRX700E」）が表示されていることを確認してください。
- PCカードドライバー名が表示されない場合や［?］や［!］が付いている場合は、PCカードドライバーをアンインストールしたあと、もう一度インストールし直してください。

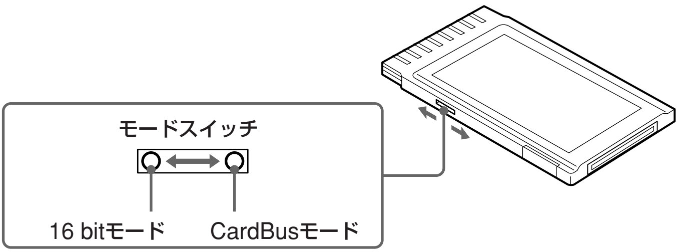
セットアップする（Windows 2000の場合）

ご注意

Windows 95プリインストールモデルのパソコンでWindows 2000を使用している場合は、「セットアップする（Windows 95の場合）」を参照してセットアップを行ってください。

PCカードのモードスイッチ設定の確認

PCカードのモードスイッチがCardBusモードに設定されていることを確認します。
モードスイッチは、先が細くて硬いピンなどを使って切り替えてください。



CardBusモード

32ビットデータバスにより、データを高速に転送することができます。
Windows 2000プリインストールモデルのパソコンは、ほとんどの場合CardBusモードに対応していますので、このモードで使用することをお勧めします。

16 bitモード

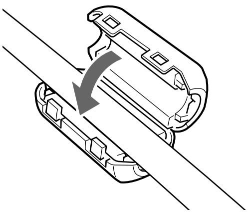
パソコンがCardBusモードに対応していない場合は、このモードで使用します。なお、CardBusモードに対応しているパソコンでも、16 bitモードで使用することができます。

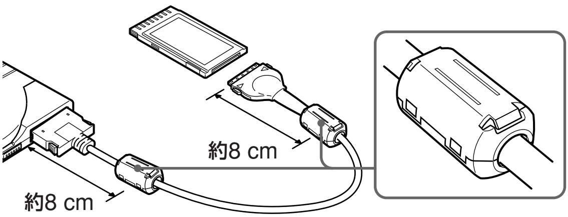
PCカードドライバーのインストール

ケーブルコア（フェライトコア）を取り付ける

1 **インターフェースケーブルを挟むようにして、付属のケーブルコアをカチッと音がするまで閉じる。**

ケーブルコアは、インターフェースケーブルのPCカード接続側およびドライブ接続側の根元付近（ケーブルコアの中央が、コネクタから約8 cmの位置）に取り付けてください。





メモ

VCCI規格に適合させるために、ケーブルコアは正しく取り付けてください。ケーブルから外部に発生するノイズが低減します。

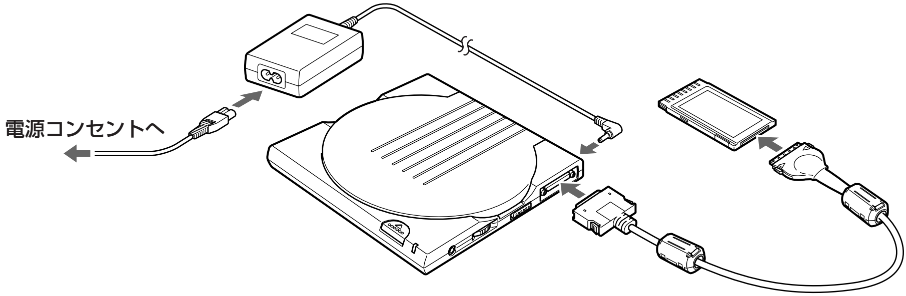
次のページにつづく

パソコンと接続し、PCカードドライバーをインストールする

CRX76Aをパソコンと接続し、表示されるウィザードに従ってPCカードドライバーをインストールします。

1 **付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入する。**

2 **CRX76Aの電源スイッチがオフになっていることを確認して、PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプター、電源コードを接続する。**



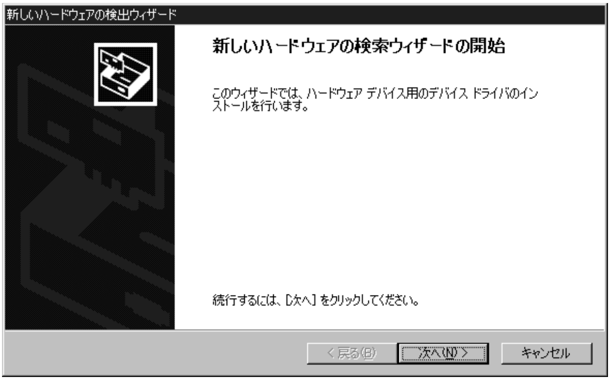
ご注意

PCカードは、まだカードスロットに挿入しないでください。

3 **CRX76Aの電源スイッチをON側にスライドする。**

4 PCカードをパソコンに挿入する。

「新しいハードウェアが見つかりました」というメッセージが表示され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。



5 [次へ] をクリックし、表示されたウィザードで [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] を選択する。

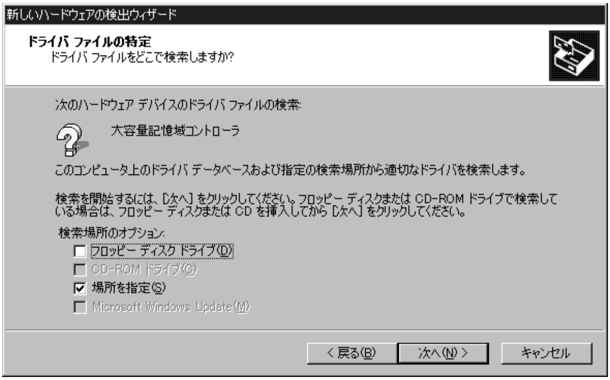


メモ

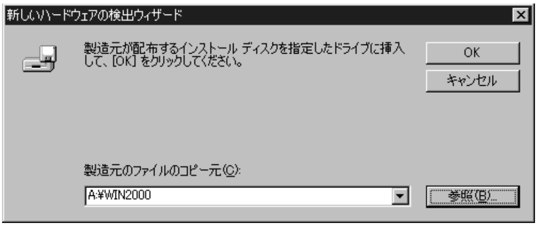
上の画面例は、PCカードをCardBusモードに設定した場合です。PCカードを16 bitモードに設定した場合は、デバイス名として「IO_DATA CBIDE2_」が表示されます。

次のページにつづく

6 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで「場所を指定」チェックボックスをオンにし、それ以外のチェックボックスはすべてオフにする。



7 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで「A:¥WIN2000」（Aはフロッピーディスクドライブのドライブ名）と入力する。



メモ

検索場所を入力せずに一覧から選択することもできます。［参照］ボタンをクリックし、表示された「ファイルの場所」ダイアログボックスでフロッピーディスクドライブの「WIN2000」フォルダを選択し、［開く］をクリックします。

8 [OK] をクリックする。

ウィザードが次のように変わります。

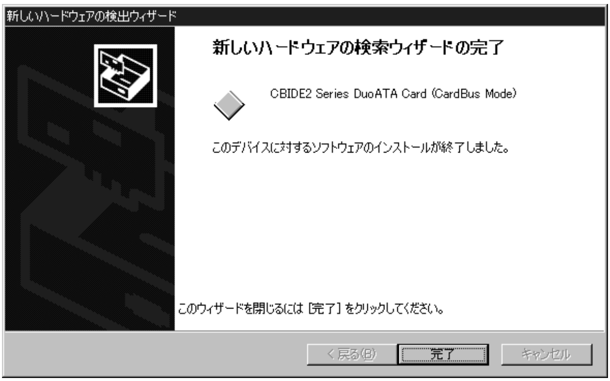


メモ

上の画面例は、PCカードをCardBusモードに設定した場合です。PCカードを16 bitモードに設定した場合は、デバイス名として「IO_DATA CBIDE2_」または「CBIDE2 Series DuoATA Card (16Bit Mode)」が表示され、ドライバ名として「a:¥win2000¥duo16w2k.inf」が表示されます。

9 [次へ] をクリックし、「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら [はい] をクリックする。

インストールが始まります。しばらくすると、次の画面が表示されます。



次のページにつづく

10 **[完了] をクリックし、セットアップディスクをフロッピーディスクドライブから取り出す。**

メモ

「コンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示された場合は、セットアップディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してから「はい」をクリックしてください。Windows 2000の再起動が行われます。

セットアップ終了後の確認

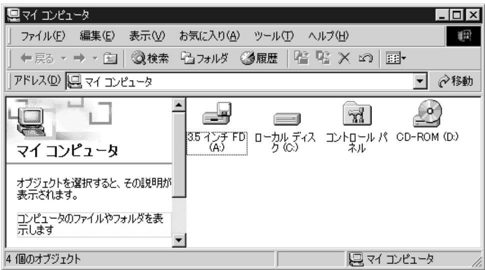
ここでは、セットアップが正しく行われたことを確認する方法を説明します。

1 **[マイコンピュータ] をダブルクリックする。**

「マイコンピュータ」ウィンドウが開きます。

2 **「マイコンピュータ」ウィンドウにCD-ROMドライブのアイコンが追加されていることを確認する。**

CD-ROMドライブのアイコンが追加されていれば、セットアップは正しく行われています。



ご注意

CD-ROMドライブのアイコンが追加されていない場合は、CRX76Aとパソコンが正しく接続されているかどうか、また、CRX76Aの電源が入っているかどうかを確認してください。電源が入っていない場合はPCカードをいったん抜き、「PCカードドライバーのインストール」の中の接続手順に従って接続し直してください。それでもアイコンが追加されない場合は、「セットアップする（Windows 95の場合）」を参照してもう一度セットアップを行ってください。

メモ

- CRX76Aの接続状態をさらに詳しく確認するには、[デバイスマネージャ] を表示させます。[デバイスマネージャ] を表示させるには、[マイコンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックし、表示される [システムのプロパティ] ダイアログボックスで [ハードウェア] タブ- [デバイスマネージャ] の順にクリックします。[表示] メニューの [デバイス (接続別)] をクリックし、デバイスの一覧で「CardBus Controller」の下位にPCカードドライバー名 (「CBIDE2 DuoATA Card」) が表示され、さらに下位にCD-R/CD-RWドライブ名 (「SONY CD-RW CRX700E SCSI CdRom Device」) が表示されていることを確認してください。
- PCカードドライバー名が表示されない場合や [?] や [!] が付いている場合は、PCカードドライバーをアンインストールしたあと、もう一度インストールし直してください。

セットアップする（Windows 95の場合）

次の場合は、この章で説明する手順に従ってセットアップを行ってください。

- パソコンのOSがWindows 95の場合
- Windows 95プリインストールモデルのパソコンでWindows 98、Windows 2000、Windows Meを使用している場合
- 「セットアップする（Windows 98、Windows Meの場合）」、「セットアップする（Windows 2000の場合）」の手順でセットアップが正常に行われなかった場合

PCカードコントローラーの設定

ご使用のパソコンの、PCカードコントローラーの設定を確認します。

1 **[マイコンピュータ] にマウスカーソルを合わせて右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。**

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **[パフォーマンス] タブをクリックする。**

3 **[PCカード（PCMCIA）] に「32 ビット」と表示されていることを確認する。**



「32ビット」と表示されていれば、PCカードを使用できる状態にあります。「CardBus対応の確認」に進んでください。「32ビット」と表示されていないときは、手順4に進んでください。

メモ

あとの手順で選択する動作モード（CardBusモードあるいは16 bitモード）にかかわらず、「32ビット」と表示されている必要があります。

4 「コントロールパネル」ウィンドウで［PCカード］をダブルクリックする。

PCカードウィザードが起動されます。

5 PCカードウィザードの指示に従って操作する。

操作が終了すると、ご使用のパソコンでPCカードが使用できるようになります。「CardBus対応の確認」に進んでください。

メモ

PCカードコントローラーの設定についての詳細は、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。

CardBus対応の確認

ご使用のパソコンがCardBusモードに対応しているかどうかを確認します。

Windowsのバージョンを確認する

ご使用のパソコンにWindows 95がインストールされているときは、Windows 95のバージョンが、4.00.950B以降かどうかを確認します。
ご使用のパソコンにWindows 98、Windows 2000またはWindows Meがインストールされているときは、この確認は不要です。「PCカードスロットの仕様を確認する」に進んでください。

次のページにつづく

1 **［マイコンピュータ］にマウスカーソルを合わせて右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの［プロパティ］をクリックする。**

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **［情報］タブの［システム］でWindows 95のバージョンを確認する。**



バージョンが4.00.950Bまたは4.00.950Cであれば次の「PCカードスロットの仕様を確認する」に進んでください。それ以前のバージョンであれば、ご使用のパソコンは16 bitモードだけに対応しています。「PCカードのモードスイッチ設定」に進んでください。

PCカードスロットの仕様を確認する

ご使用のパソコンのPCカードスロットがCardBusモードに対応しているかどうかを確認します。

1 **［マイコンピュータ］にマウスカーソルを合わせて右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの［プロパティ］をクリックする。**

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックする。**

3 デバイスの一覧で「PCMCIAソケット」をダブルクリックする。



4 CardBusモードに対応したPCカードコントローラー（CardBus Controller）が組み込まれているかどうかを確認する。

PCカードコントローラーの名称に「CardBus Controller」が含まれているときは、ご使用のパソコンはCardBusモードに対応します。含まれていないときは、ご使用のパソコンは16 bitモードにのみ対応しています。「PCカードのモードスイッチ設定」に進んでください。

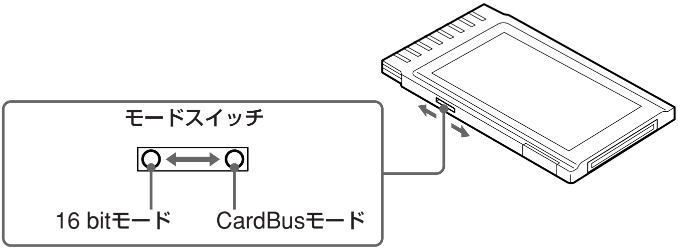
メモ

- ご使用のパソコンによって、組み込まれているPCカードコントローラーが異なります。上記は、PCカードコントローラー「Ricoh RL5C475 CardBus Controller」が組み込まれていたときの表示例です。
- ここで説明した方法でPCカードスロットがCardBusモードに対応しているかどうかわからなかったときは、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。

次のページにつづく

PCカードのモードスイッチ設定

「CardBus対応の確認」で確認および設定した結果に従い、ご使用のパソコンに合わせて、PCカードのモードスイッチを設定します。
モードスイッチは、先が細くて硬いピンなどを使って切り替えてください。



CardBusモード

32ビットデータバスにより、データを高速に転送することができます。ご使用のパソコンにCardBusスロットがあり、かつWindows 95バージョン4.00.950 B（OSR2バージョン）以降、Windows 98、Windows 2000、Windows Meのいずれかがインストールされているときは、このモードで使用することをお勧めします。

16 bitモード

PCカードスロットがCardBusスロットではないパソコンでは、このモードで使用します。なおCardBusスロットがあるパソコンでも、16 bitモードで使用することができます。

その他パソコン側の設定の確認

PCカードスロットへの電源供給の設定を確認する

PCカードスロットへの電源供給のオン／オフが設定ができるパソコンでは、PCカードに電源が供給される設定になっていることを確認してください。
この設定は、一般的なパソコンでは、セットアップやパワーセーブ機能の中にあります。詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意

PCカードスロットに電源が供給されない状態では、PCカードが使用できません。

オートパワーダウン機能が働かないように設定する

ノートパソコンでは、設定された時間内に何も操作がないと自動的に電源が切れる機能（オートパワーダウン機能）を備えたものがあります。機種によっては、この機能が働いたときにPCカードスロットへの電源供給も止まることがあります。CD-R/RWに書き込みしているときに電源の供給が止まると、再びPCカードスロットに電源が供給されてもCD-R/RWへの書き込みが再開できません。最悪の場合はCD-R/RWの障害を引き起こすこともあります。

これを回避するために、必ずオートパワーダウン機能が働かないように設定してください。

詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

このあとは

このあとは、パソコンのOSに応じて次のページを参照して操作してください。

- Windows 95、Windows 98またはWindows Meの場合

→ 「セットアップする（Windows 98、Windows Meの場合）」の「PCカードドライバーのインストール」以降

- Windows 2000の場合

→ 「セットアップする（Windows 2000の場合）」の「PCカードドライバーのインストール」以降

PCカードドライバーをアンインストールするには

ここでは、インストールされているPCカードドライバーをアンインストール（削除）する方法を説明します。
PCカードやCRX76Aが正常に認識されないときや、動作がおかしいときは、次の手順でPCカードドライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールし直してください。

Windows 95、Windows 98、Windows Meの場合

1 **PCカードをPCカードスロットから取り外す。**
PCカードの取り外し方法は、「取扱説明書」の「PCカードを取り外す」を参照してください。

2 **付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入する。**

3 **［マイコンピュータ］をダブルクリックし、［A:］（セットアップディスクを挿入したフロッピーディスクドライブがAドライブの場合）、［Install.exe］の順にダブルクリックする。**



このアイコンをダブルクリックし、Install.exeを起動

「デバイスドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されます。



4 **［アンインストール］を選択し、［OK］をクリックする。**

次のメッセージが表示されます。



5 **［OK］をクリックする。**

アンインストールが始まります。しばらくすると次のメッセージが表示されます。



6 **［OK］をクリックする。**

Windowsを再起動するかどうか確認するメッセージが表示されます。



7 **フロッピーディスクドライブからセットアップディスクを取り出し、［はい］をクリックする。**

これでアンインストールは終了です。

次のページにつづく

Windows 2000の場合

メモ

Windows 2000でPCカードドライバーのアンインストールを行うには、管理者またはAdministratorグループのメンバーとしてログオンする必要があります。

1 **CRX76Aの電源を入れ、パソコンに接続する。**

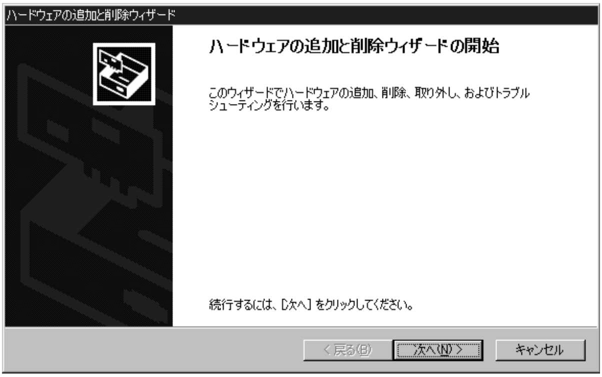
接続方法は、「セットアップする（Windows 2000の場合）」の「PCカードドライバーのインストール」を参照してください。

2 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にマウスカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

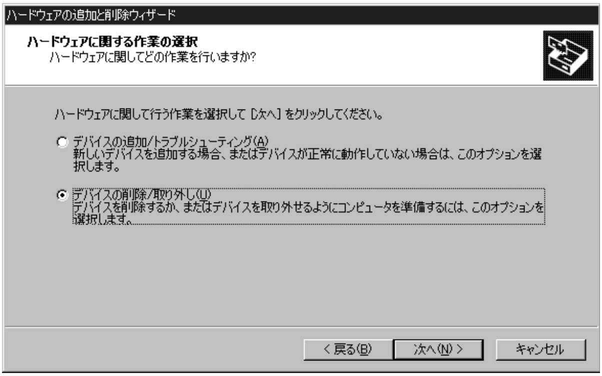
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 **［ハードウェアの追加と削除］をダブルクリックする。**

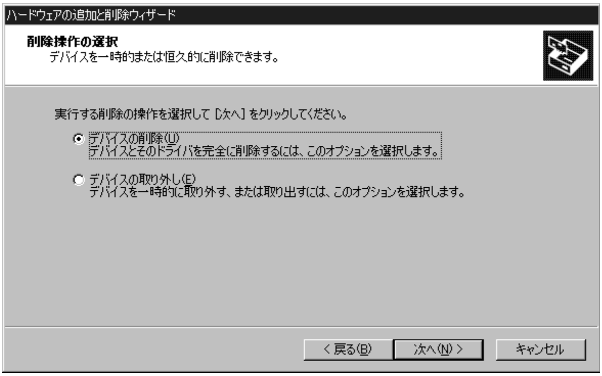
「ハードウェアの追加と削除ウィザード」が表示されます。



4 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで［デバイスの削除/取り外し］を選択する。



5 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで［デバイスの削除］を選択する。



次のページにつづく

6 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで「CBIDE2 Series DuoATA Card (CardBus Mode)」を選択する。



メモ

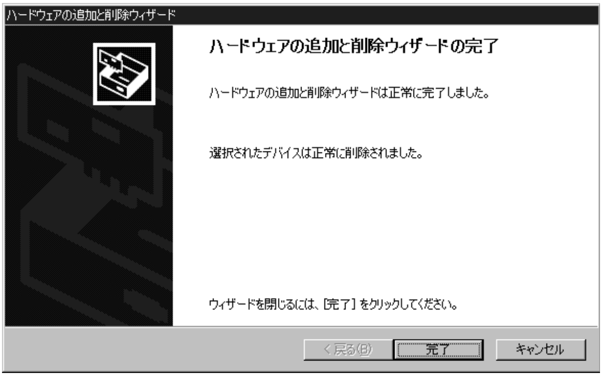
PCカードを16 bitモードに設定した場合は、「CBIDE2 Series DuoATA Card (16Bit Mode)」を選択します。

7 ［次へ］をクリックし、表示されたウィザードで［はい、このドライバを削除します］を選択する。



8 **［次へ］をクリックする。**

ウィザードが次のように変わります。



9 **［完了］をクリックする。**

これでアンインストールは終了です。

10 **PCカードをパソコンから取り外す。**

Windows 2000にアップグレードするには

ここでは、CD-ROMドライブが付属していないパソコンで、CRX76Aを使用して、OSをWindows 95、Windows 98またはWindows MeからWindows 2000にアップグレードする方法を説明します。Windows 2000にアップグレードすると、Windows 2000対応のCRX76AのPCカードドライバーが同時にインストールされます。

メモ

CD-ROMドライブが内蔵されているパソコンや標準のCD-ROMドライブが付属しているパソコンをお使いの場合は、ここで説明する方法でアップグレードを行う必要はありません。内蔵や付属のCD-ROMドライブを使用し、通常の方法でWindows 2000をインストールしたあと、「セットアップする（Windows 2000の場合）」を参照してCRX76Aのセットアップを行ってください。

ご注意

Windows 2000へのアップグレードを行う前に、ご使用のパソコンがWindows 2000の動作に必要な条件を満たしていることを確認してください。詳しくは、パソコンおよびWindows 2000の取扱説明書を参照してください。

重要

この操作を行う前に、必ず「起動用フロッピーディスクを作成する」（38ページ）を参照して起動用フロッピーディスクを作成してください。

1 **パソコンの電源を入れ、CRX76Aが使用できるようにする。**

メモ

CRX76Aのセットアップが済んでいない場合は、「セットアップする（Windows 98、Windows Meの場合）」または「セットアップする（Windows 95の場合）」を参照してセットアップを行ってください。

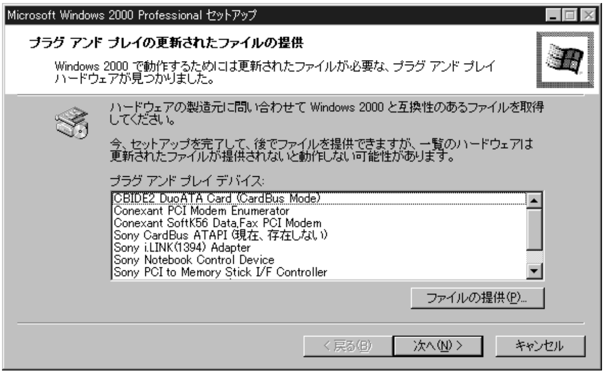
2 **CRX76AにWindows 2000のCD-ROMをセットする。**

Windows 2000へのアップグレードを確認するメッセージが表示されます。

3 ［はい］をクリックし、表示される画面で［Windows 2000にアップグレードする（推奨）］を選択して［次へ］をクリックする。

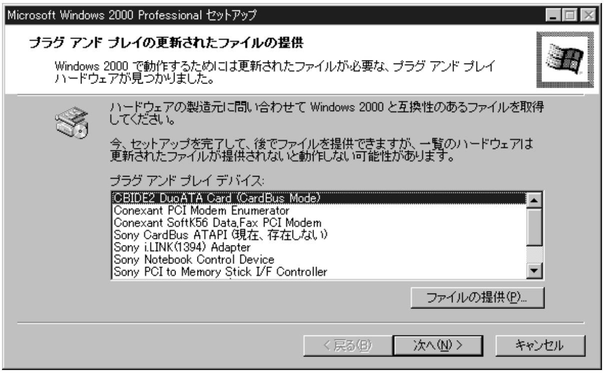


4 次の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作する。



次のページにつづく

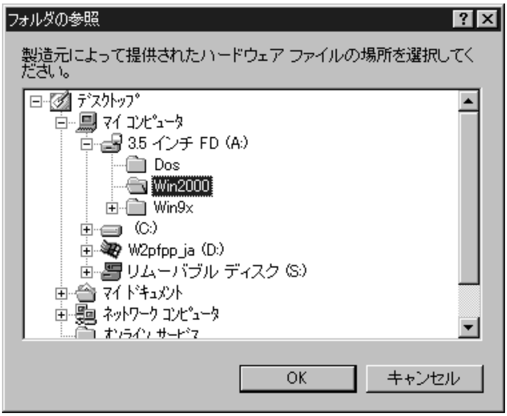
5 CRX76Aに付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、一覧からPCカードのデバイスを選択する。



メモ

表示されるデバイス名は、PCカードのモードスイッチ設定によって異なります。上の画面例は、CardBusモードの場合です。モードスイッチ設定が16 bitモードの場合、デバイス名は「CBIDE2 DuoATA Card (16Bit Mode)」となります。

6 [ファイルの提供] をクリックし、表示される「フォルダの参照」ダイアログボックスで「Win2000」フォルダを選択する。



7 [OK] をクリックし、セットアップ画面でPCカードのデバイス名が消えたことを確認し、[次へ] をクリックする。

8 画面の指示に従って操作し、再起動を確認する画面が表示されたらセットアップディスクをフロッピーディスクドライブから取り出す。

9 再起動のあと、画面に「Windows 2000 Setup」と表示されたら(数秒間だけ表示されます)、すぐに [F6] キーを押す。

10 サポートディスクを使用するかどうかを選択する画面が表示されたら、[S] キーを押す。

11 サポートディスクを要求する画面が表示されたら、CRX76Aに付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、[Enter] キーを押す。

12 ドライバーを要求する画面が表示されたら、PCカードのモードスイッチ設定に合ったドライバーを [↓]、[↑] キーで選択し、[Enter] キーを押す。

メモ

選択するドライバーは、PCカードのモードスイッチ設定によって次のようになります。

- CardBusモードの場合:「CBIDE2 DuoATA Card (CardBus Mode) for Windows 2000」
- 16 bitモードの場合:「CBIDE2 DuoATA Card (16Bit Mode) for Windows 2000」

次のページにつづく

13 選択したPCカードのドライバーを確認する画面が表示されたら、［Enter］キーを押す。

14 インストールが完了するまで、画面の指示に従って操作する。

メモ

- 再起動を確認する画面が表示されたら、再起動の前にセットアップディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してください。
- 「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

システムリカバリ（Windowsの再インストール）について

CD-ROMドライブが内蔵されていないパソコンの場合、CRX76Aとシステムリカバリ用CD-ROMディスクを使用したシステムのリカバリは、次のように行います。

- CRX76AのPCカードドライバーが組み込まれている起動用フロッピーディスクを作成する。
- CRX76AにシステムリカバリCD-ROMディスクをセットし、作成した起動用フロッピーディスクでパソコンを起動してリカバリの操作を行う。

ご注意

Windows 2000プリインストールモデルのパソコンの場合は、CRX76Aを使用してWindows 2000の再インストールを行うことはできません。
また、CRX76Aを使用してシステムリカバリができないパソコンもあります。詳しい情報については、インターネットの製品サポート情報をご覧になるか、指定相談窓口にご相談ください。インターネット上の製品サポート情報のアドレス、および指定相談窓口の連絡先は本書の「製品サポートのご案内」に掲載されています。

重要

CD-ROMドライブが内蔵されていないパソコンをお使いの場合、CRX76Aをパソコンに認識させることのできる起動用フロッピーディスクを作成しておかないと、Windowsが起動できなくなったときにリカバリすることができません。パソコンが正常に動作しているときに起動用フロッピーディスクを作成することをお勧めします。

次のページにつづく

起動用フロッピーディスクを作成する

起動用フロッピーディスクを作成するには、次の2つの方法があります。

- CRX76Aに付属のセットアップディスクに収録されているユーティリティ［Stuputil.exe］を使用する（［Stuputil.exe］は、CRX76AのPCカードドライバーが組み込まれた起動用フロッピーディスクを作成することができるユーティリティです。操作方法は、「ユーティリティが対応しているパソコンの場合」を参照してください）。
- お使いのパソコンに応じた起動用フロッピーディスクを作成し、CRX76Aがパソコンに認識されるように変更を加える（操作方法は、「ユーティリティが対応していないパソコンの場合」を参照してください）。

メモ

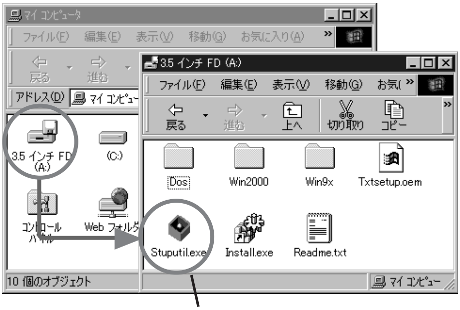
付属のユーティリティ［Stuputil.exe］は、ソニー製ノートパソコン「VAIOノート」シリーズ（一部の旧機種やWindows 95プリインストールモデルをWindows 98やWindows Meにアップデートした場合を除く）、および他社製ノートパソコンの一部に対応しています。［Stuputil.exe］が対応しているパソコンの機種名の一覧、およびシステムリカバリに関する詳しい情報については、インターネットの製品サポート情報をご覧になるか、指定相談窓口にご相談ください。インターネット上の製品サポート情報のアドレス、および指定相談窓口の連絡先は本書の「製品サポートのご案内」に掲載されています。

ユーティリティが対応しているパソコンの場合

ここでは、付属のユーティリティ［Stuputil.exe］を使って起動用フロッピーディスクを作成する方法を説明します。なお、画面例や操作の説明は、ソニー製ノートパソコン「VAIOノート」シリーズでCRX76Aを使用している場合です。

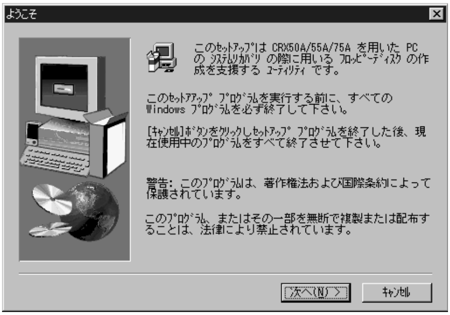
1 **付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに挿入する。**

2 ［マイコンピュータ］をダブルクリックし、［A:］（セットアップディスクを挿入したフロッピーディスクドライブがAドライブの場合）、［Stuputil.exe］の順にダブルクリックする。



このアイコンをダブルクリックし、
stuputil.exeを起動

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

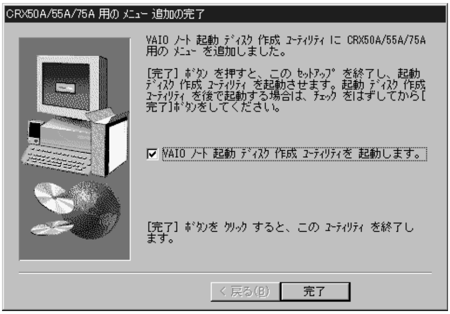


3 ［次へ］をクリックし、表示された「PCの選択」ダイアログボックスでご使用のパソコンを選択する。



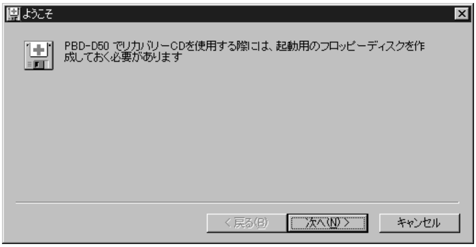
次のページにつづく

4 ［次へ］をクリックし、表示された「CRX75A用のメニュー追加の完了」ダイアログボックスで、［VAIOノート起動ディスク作成ユーティリティを起動します］チェックボックスがオンになっていることを確認する。

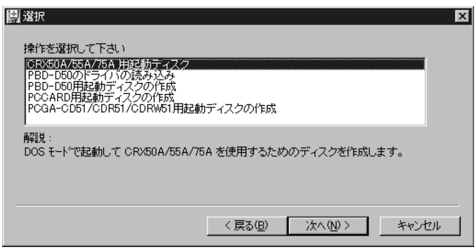


5 ［完了］をクリックする。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。



6 ［次へ］をクリックし、表示された「選択」ダイアログボックスで「CRX50A/55A/75A用起動ディスク」を選択する。

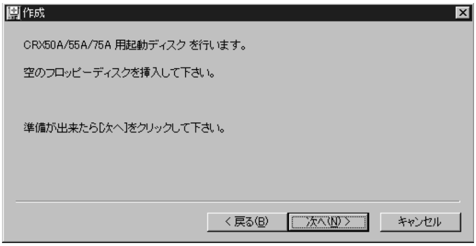


メモ

CRX76Aをご使用の場合も、「CRX50A/55A/75A用起動ディスク」を選択します。

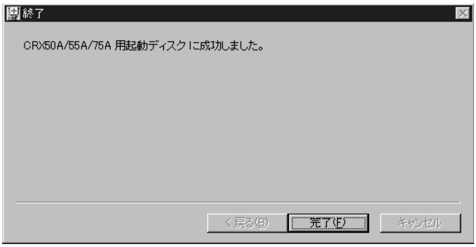
7 ［次へ］をクリックする。

「作成」ダイアログボックスが表示されます。



8 フロッピーディスクドライブからセットアップディスクを抜き、空のフロッピーディスクを挿入し、［次へ］をクリックする。

起動用フロッピーディスクの作成が開始されます。数分後、起動用フロッピーディスクが作成され、「終了」ダイアログボックスが表示されます。



9 ［完了］をクリックする。

次のページにつづく

ユーティリティが対応していないパソコンの場合

ここでは、付属のユーティリティが対応していないパソコンで、CRX76AのPCカードドライバーが組み込まれた起動用フロッピーディスクを作成する方法を説明します。

1 使用しているパソコンの起動用フロッピーディスクを作成する。

詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

メモ

パソコンによっては、専用のユーティリティで起動用フロッピーディスクを作成することができる場合があります。

- 「VAIOノート」シリーズPCG-505、PCG-505X、PCG-505EXの場合は、［スタート］メニューの［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［Create System Disks］を起動し、「PCG-CD5用起動ディスク」を作成します。
- 「VAIOノート」シリーズPCG-505G、PCG-505GX、PCG-505Rの場合は、［スタート］メニューの［VAIO］-［ノートブックユーティリティー］-［リカバリー用起動ディスク作成ツール］を起動し、「PCG-CD5用起動ディスク」を作成します。

2 作成した起動用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、起動用フロッピーディスクの中の「config.sys」ファイルを、テキストエディタ（「メモ帳」など）で開く。

3 「config.sys」ファイルの先頭に次の2行を挿入し、上書き保存する。

```
DEVICE=¥DUOATA16.SYS
DEVICE=¥DUOATACD.SYS /D:CDROM001
```

メモ

「VAIOノート」シリーズPCG-505、PCG-505X、PCG-505EX、PCG-505G、PCG-505GX、PCG-505Rの場合は、「REM ●● PCGA-CD-5 専用のドライバ ●●」のすぐ下の2行を、上記の内容に変更します。

4 起動用フロッピーディスクの中の「autoexec.bat」ファイルを、テキストエディタで開く。

重要

「VAIOノート」シリーズPCG-505、PCG-505X、PCG-505EX、PCG-505G、PCG-505GX、PCG-505Rの場合は、この操作を行う必要はありません。手順6に進んでください。

5 「autoexec.bat」ファイルの先頭に次の1行を追加し、上書き保存する。

MSCDEX /D:CDROM001 /:L:G

重要

上記のように入力すると、CRX76Aが［G:］ドライブとして設定されます。パソコンの［G:］ドライブが、すでにハードディスクやその他の周辺機器に割り当てられている場合は、「G」をほかの文字にして入力してください。なお、一般的なノートパソコンでは、「A」から「F」までは何らかの機器に割り当てられていることが多いので、「A」から「F」以外の文字に変更することをお勧めします。

6 セットアップディスクの「Dos」フォルダの中にある次の2つのファイルを、起動用フロッピーディスクのルートディレクトリにコピーする。

Duoatacd.sys
Duoata16.sys

メモ

- フロッピーディスクからフロッピーディスクにファイルをコピーするときは、目的のファイルをいったんパソコンのハードディスクにコピーしてください。
- Wndows 95の場合は、作成した起動用フロッピーディスクの「Dos」フォルダの中に［mscdex.exe］があるかどうかを確認してください。
  ［mscdex.exe］がない場合は、パソコンの［C:］ドライブの「Windows¥Command」フォルダにある［mscdex.exe］を、起動用フロッピーディスクの「Dos」フォルダにコピーしてください。

システムをリカバリする

「起動用フロッピーディスクを作成する」で作成した起動用フロッピーディスクを使って、パソコンのシステムをリカバリします。

1 **パソコンの電源を切ってから、CRX76Aをパソコンに接続する。**

重要

PCカードのモードスイッチを16 bitモードに設定してから、PCカードをパソコンに挿入してください。

2 **パソコンに付属されているリカバリ（Windows再インストール）用のCD-ROMディスクをCRX76Aにセットする。**

3 **作成しておいた起動用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、パソコンを再起動する。**

パソコンがDOSモードで起動します。

4 **パソコンが起動したら、システムリカバリのプログラムを実行する。**

システムリカバリのプログラムを実行する方法は、ご使用のパソコンにより異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

メモ

- 「VAIOノート」シリーズ（PCG-505、PCG-505X、PCG-505EX、PCG-505G、PCG-505GX、PCG-505Rを除く）の場合は、次のように入力するとシステムリカバリのプログラムが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。

  A:¥>install　　[Enter] キー

- 「VAIOノート」シリーズのPCG-505、PCG-505X、PCG-505EX、PCG-505G、PCG-505GX、PCG-505Rの場合は、次のように入力するとシステムリカバリのプログラムが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。なお、起動用フロッピーディスクの作成のときにCRX76Aを［G:］ドライブ以外に設定した場合は、「G」を適切な文字にして入力してください。

  A:¥>G:　　　[Enter] キー
  G:¥>install　　[Enter] キー

重要

システムリカバリを行ったあとでCRX76Aを使用するためには、パソコンにPCカードドライバーを再度インストールする必要があります。本書の「セットアップする」を参照してください。

ご注意

PCカードのモードスイッチは、システムリカバリで16 bitモードに設定されています。CardBusモードでCRX76Aを使用する場合は、PCカードのモードスイッチをCardBusモードに設定し直してください。

製品サポートのご案内

CRX76Aの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRX76A
- **故障かな？と思ったら**
  「取扱説明書」（22ページ）
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名：CRX76A**
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のパソコンメーカー・型番**
- **パソコンの仕様（CPU速度、メモリー容量など）**
- **ご使用のライターソフトウエア**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージテクニカルレスポンスセンター
TEL 03-5350-1460
受付時間
月〜金
10:00〜12:00
13:00〜17:00

CRX76Aの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージ
テクニカルレスポンスセンター

TEL: 03-5350-1460

受付時間
月〜金
10:00から12:00
および
13:00から17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia